# Edge Tracker 年末調整申告　制限事項のご案内

制限付き業務管理者のスコープ設定における社員抽出の仕様

2026 年 10 月発行　第 1 版（対象：一次対応（2026 年 10 月 18 日リリース）以降）

---

## 本書の目的

制限付き業務管理者に所轄・グループ・所属のスコープ（操作対象とする社員の範囲の制限）を設定した場合の社員抽出の動作について、設定時にご注意いただきたい点を制限事項としてまとめたものです。以下はいずれも不具合ではなく、仕様上の動作となります。

スコープは、システム管理者でログインし、社員基本情報の変更画面で管理者区分を「業務管理者」とした社員に対して設定します。「所轄税務署の制限」「グループの制限」「所属の制限」にチェックを付けて対象を選択すると、その業務管理者が管理できる申告書を、指定した所轄税務署・グループ・所属の社員分に限定できます。一次対応（2026 年 10 月 18 日リリース）で「所属の制限」（所属制御）が追加されます。動作は、既存の「所轄税務署の制限」「グループの制限」と同様です。

## 1. 複数のスコープ条件は AND 条件で適用されます

所轄・グループ・所属の制限を複数設定した場合、そのすべての条件を満たす社員のみが操作対象となります。一部の条件のみを満たす社員（OR 条件）は操作対象に含まれません。この扱いは、所轄・グループ・所属のどの組み合わせでも同じです。

## 2. 条件の組み合わせに該当する社員が存在しない場合、一覧は空になります

例として、所轄コード 91 と所属コード 93 の制限を設定した管理者の場合、「所轄コード 91 かつ 所属コード 93」に該当する社員が 1 名も存在しなければ、次のいずれの画面にも社員は表示されません。

- 「未招待の社員」タブの初期表示
- 「現在の招待」タブの一覧

いずれも異常ではなく、設定された条件に合致する社員が 0 件であることを示しています。

## 3. 抽出条件で所轄等を指定しても、設定済みのスコープは解除されません

項目 2 の例の管理者の場合、画面で指定した抽出条件は、管理者に設定されたスコープにさらに AND 条件として重なります。そのため、抽出画面で「所轄コード 91」を指定した場合の結果は、「所轄コード 91 に属する社員すべて」ではなく「所轄コード 91 かつ 所属コード 93 に該当する社員のみ」となります。

＜表示結果の例＞

| 管理者に設定したスコープ | 抽出画面で指定した条件 | 表示される社員 |
|---|---|---|
| 所轄コード 91 のみ | 指定なし（初期表示） | 所轄コード 91 に属する社員 |
| 所轄コード 91 のみ | 所轄コード 91 | 所轄コード 91 に属する社員 |
| 所轄コード 91 ＋ 所属コード 93 | 指定なし（初期表示） | 所轄 91 かつ 所属 93 の社員<br>（該当者がいない場合は 0 件） |
| 所轄コード 91 ＋ 所属コード 93 | 所轄コード 91 | 所轄 91 かつ 所属 93 の社員<br>（該当者がいない場合は 0 件） |

## 4. 管理者自身の所属とスコープ設定は連動しません

管理者本人が所属コード 93 に属している場合でも、表示範囲は本人の所属ではなく、その管理者に設定されたスコープ条件のみで決まります。本人の所属によって参照範囲が自動的に追加されることはありません。

## 運用上の推奨

- 広い範囲の社員を参照させたい場合は、制限を 1 階層（例：所轄のみ）に絞って設定してください。複数階層を設定すると、意図より狭い範囲に絞り込まれます。
- スコープを変更した際や、社員が表示されない場合は、管理者に設定されているスコープの組み合わせと、その条件に該当する社員の有無をご確認ください。